

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合や終末期のあり方について、事業所としての方針を明確に出来ていない。	事業所としての方針を明確にし、利用者・家族が安心して生活を送れるようになる。又、入居希望者に対しては、事業所の方針を明確に伝える事で選択出来るようになる。	看取りケアについての情報を共有し、経営者・管理者・スタッフを含めた話し合いを行い、方針を明確にし、ご家族との話し合いを持った上で、パンフ・契約書に明記する。	8 ヶ月
2	10	スタッフと家族との信頼関係が十分に築くことが出来ていないことや意見や苦情を伝えやすい仕組み(アンケートや状況報告の工夫など)が不十分である。	家族との信頼関係を十分に築き、意見や苦情がホームの運営に反映される事で入居者・家族の介護環境が向上される。	年4回の現状報告書を確実に送り、内容についても理解しやすいものとするよう配慮する。特に医療(健康)に関することはケアマネや看護師資格保有者の視点からの報告を添付するようにする。又、新聞を送るさいには別に利用者の個別の写真を添付することで家族への心情に配慮していく。その他月に1回は家族に対して電話での近状報告を簡単に行うことも検討していきたい。	3 ヶ月
3	35	年2回の防災訓練のみの実施で常日頃からの防災に対する意識が不足している。又、実際の災害時に活かせる実践的な自主訓練や研修が行えていない。	スタッフ全員が防災についての意識を持ち、実際の防災時に慌てずに対応できる体制を作っていく。又、地域に緊急時の協力体制が出来る。	実践的な自主訓練や研修を年に2回程度行うようにする。次回の防災訓練には地域の消防団等に参加して頂くようにする。(定期的な消防団の参加を求めていく。)	12 ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。